

会 議 録

会議の名称	第3回小金井市保健福祉総合計画策定委員会
事務局	地域福祉課
開催日時	平成23年5月31日（火）午後7時から午後8時40分まで
開催場所	小金井市役所 801会議室
出席者	（委員） 山口委員長、竹内副委員長、伊藤委員、高氏委員、中里委員、平野委員、井爪委員、齋藤委員、森田委員、矢野委員、鈴木委員、木所委員 （事務局） 福祉保健部長、地域福祉課長、障害福祉課長、介護福祉課長、介護福祉課長補佐、健康課長、作業部会職員、コンサルタント会社研究員
欠席者	0人
傍聴の可否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	1 開催にあたって 2 アンケート調査結果 3 各専門部会からの報告 4 地域福祉計画の体系案 5 今後のスケジュール
提出資料	1 アンケート調査結果訂正箇所 …資料(1) 2 小金井市保健福祉総合計画（体系イメージ案） …資料(2) 3 小金井市保健福祉総合計画策定スケジュール …資料(3) 4 小金井しあわせプラン（第4次小金井市基本構想・前期基本計画） 5 地域福祉計画アンケート調査票 6 小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画）の策定に伴うアンケート調査結果
その他	

会 議 結 果

<p>事務局 山口委員長 事務局</p>	<p><b>1. 開催にあたって</b> — 人事異動に伴い事務局職員自己紹介 — — 山口委員長挨拶 — — 配布資料の確認 —</p>
<p>事務局 コンサルタント</p>	<p><b>2. アンケート調査結果</b> ※アンケート調査結果の訂正箇所（資料1）の説明 ※小金井市保健福祉総合計画（地域福祉計画）の策定に伴うアンケート調査結果に基づき説明</p>
<p>山口委員長 平野委員 事務局</p>	<p>ご意見ご質問があれば、挙手をお願いしたい。 サンプル数の男女の割合はどのくらいか。 無作為抽出だが男女比を勘案して抽出しており、男性951、女性1,049である。</p>
<p>平野委員 事務局</p>	<p>震災の影響により、8ページの回答内容はぶれが生じると私も思うが、3月11日前と後に回収したものの比率は大体どのくらいか。 3月10日までに、768通のほぼ8割以上の600通以上をジャパン総研さんに送付し、10日以降は、日に5、6件届く状況であった。締切は、当初3月25日までとしていたが、震災の影響で出せない方もいる可能性があるため、他課と擦り合わせを行い4月8日まで受け付けた。</p>
<p>竹内副委員長 コンサルタント</p>	<p>他の調査で回収率60～70%台は見たことがあるが、サンプル数2,000で回収率38.4%は少し低いように思う。この信頼度はどう考えたいか。また、男女の人口比はほぼ半々なのに、回答数は女性が多くて男性が少ないというのはどうみたらいいか、併せてお願いしたい。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>何パーセント以上がいいとか駄目というのは特にはないが、誤差でいえば、大体プラスマイナス3.5%程度の信頼度であった。人口が多ければサンプル数が多く必要かというは必ずしもそうではなく、その誤差をどれだけ埋めるかで、サンプル数を増やすかどうかになっている。 どうしても女性の方のほうが回答されるケースが多いため、設問によっては男女別でクロスを見ながら、回答に隔たりがあるのかどうか見ていくことも必要かと思っている。 6ページの「福祉に関心をお持ちですか」という設問に対し、20歳代の回答で「関心がない」が2割もあった。福祉という言葉の意味を</p>

矢野委員	<p>よく解されないで答えられたのかもしれないし、行政側も公民館・児童館・図書館等の講座などに、20歳代を引きつけるような方法を考えて一生懸命されていると思うが、この年代を何とか掘り起こしていかないと将来危ないのではないかという気持ちでいっぱいであった。</p>
矢野委員	<p>次の7ページの家族構成別でひとり暮らしで「関心がない」が20%を超えており、母数ではひとり暮らしは94で20歳代が80だけど、20歳代のひとり暮らしが多いのか、高齢者のひとり暮らしだけど関係ないと思っているのか、その辺の年代と構成の関係が分かると、関心がないというのをどう考えたらいいか、ヒントになると思うが、クロス集計は出せるか。</p>
コンサルタント	<p>一人暮らしの方の年代の内訳は、次回お出しする。</p>
事務局	<p>10ページ「地域の関わりについて」で、自治会町内会に加入されていない方が非常に多くなっており、地域での助け合いに支障が出てきており、災害時の助け合いも困難になってくると思う。マンションの場合、全体で入るということも難しく、結構大きいと思うので、居住形態、年齢別、男女別のクロス集計を出していただきたい。</p>
コンサルタント	<p>地域との関わり、項目の中に含まれる設問でのクロス集計という形でお出しする。</p>
森田委員	<p>震災後の3月の2週間、震災災害ボランティアとして、石巻西の福祉避難所に行き、その後も毎週末、原発の南相馬と石巻に行っているが、今回の災害で、普段の福祉への考え方はどうなっているのかと言ってしまうような場面も多く、逆にしっかり受け止めている地域は避難所の運営も地域の取り組みもきちんと進んで行っている。本当に日々の暮らしの一瞬一瞬が災害時にどうあるかということのためにあると思えるくらい、地域ごとの差も見せつけられたので、アンケート結果も踏まえて、できれば、前回の総合計画策定の時のように地域ごとのワークショップを行い、小金井の福祉総合計画はこれでいいのかを地域の一人一人に突き付けていかなければいけないと強く感じる。</p>
平野委員	<p>森田委員の意見に賛成である。震災後、高級住宅街と言われるような浦安でも、隣同士、町内会等のきずなを積極的にやり始めたテレビで放送されていた。小金井市はどうかというと、1戸建ての持ち家の方が多く、20年以上居住していて2世帯住宅が多く、隣近所には迷惑掛けない、何かあったときには頼りにするというイメージだが、3月11日に外に出たのは奥さんたちだけで、その後、以前と同じ回覧板と死亡通知だけで、特に何もやっていない。いかに隣近所がうまく付き合うかというのは、今がチャンスで、それも早いうちがいいと思っ</p>

福祉保健部長	<p>ており、この総合計画は年度内に立てるので、本当にいい環境で住みたい小金井市として、どうすればいいのかを真剣に考えるべきで、それを計画に盛り込めたらいいと思う。</p>
福祉保健部長	<p>ワークショップについては、実質、時間的な問題もあるので困難かと思うが、計画をつくって終わりということではなく、実施していくことに目的があるわけなので、別の形でワークショップ等についても考えていきたいと思うので、持ち帰って検討させていただきたい。</p>
森田委員	<p>福祉総合計画の場に子ども分野の方がいないのは不自然に感じている。災害があったとき、ここの地区で日ごろから計画していたことや在り方というものの、何かよりどころになるものはないかと聞くと、流されているとか、今手元にはないとか、そういうものではもったいないと思う。何かあったとき、今まで積み重ねて話し合われてきたものが、実際、生かされるようなものでなければいけないし、その時に、その場に子ども分野の方も居ていただきたいと思う。</p>
福祉保健部長	<p>今日お配りした「小金井しあわせプラン」については市の最上位計画で、その135ページに子ども家庭福祉の記載があり、この中で、22年3月に策定された「のびゆくこどもプラン 小金井」の推進等が謳われている。部としては、子ども家庭部、福祉保健部と分かれているが、この「小金井しあわせプラン」を策定するにあたっては、各課連携をして、整合性を持たせて一体感のある計画を策定するということが大きな目的であり、全く別の計画という形ではないし、庁内で必ず連携をしているということをご理解いただきたい。</p>
高氏委員	<p>問18で、「住民同士で協力したい」が60代からぐんと上がっているということは、やはり若い世代は仕事等をやっているもので、したくても行政に任せるという形で、60代、団塊の世代の方たちは、時間的に余裕ができて、自分たちでやっていこうという形で取り組んでいるのではないかと思うので、この辺に焦点を充てて、これからの地域の活性化、住民同士の結び付き等をやる方法もあるのではないかと思った。</p>
矢野委員	<p>14ページの近所付き合いの満足度は、前回より若干落ちているが、6割強が満足していて、問13の町内会行事や活動ではほとんど参加していない。また、23ページの防災でも災害避難場所は把握しているが、地域の防災訓練には大半の人が参加していない。これは、小金井市に住むことは満足しているけれども、地域等のかかわりではあまり積極的ではなく、実際、自治会には名前だけで、朝夕の挨拶以上の深い関わりはない。この自治会活動の在り方等をもう一歩どう進めていくか議論しないと、アンケート結果がこうだったというだけでは、次</p>

高氏委員	<p>の施策へどうしていくかというところには進まないように思う。</p> <p>近所付き合いという人間的なつながりが強い所が早く復興しているように思う。隣近所では、深入りすると差し障りが出て来ることも多いかなというので少しおいてしまい、つい挨拶とか回覧板だけとなってしまふ。強制とかシステムといった形にしないで、人間同士というか、そういうものはできないのだろうか。</p>
森田委員	<p>福祉避難所に子どもから介護の必要な高齢者までみんなが集まった時、その事務局はその地域のお役所の方たちで構成されるが、こんな時でも、自分は普段、子どもの方の担当なので分からないとか、そこで話が通っても今度は別の課へ案内されるなどの縦割りで苦労した。逆にこんな時だからこそ、縦割りというものがもろに出てきてしまうということをととても感じた。福祉総合というのは、課がまたがって一同に集まる場なので、やはり子ども分野も、というふうにすごく感じる。</p>
竹内副委員長	<p>基本構想の下位計画を、前は地域福祉課、障害福祉課、介護福祉課が別々に作っていたのを1つにしたのは、今回大きな前進だが、それに子育て支援課も一緒に入れるという方針を出していれば、そういう問題は出なかったと思う。森田さんのご意見はよく分かるが、今、ここまで進んできている段階で、軌道修正は難しいので、次回行うときは、できるだけそういう方向性を検討したほうがいいと思う。</p> <p>もう1つ地域のきずなは、昔に比べると町会の組織率も40%台まで落ちており、私の町会でもそうだが、役員は一生懸命で、他の人たちの協力はなかなか無い。でも、役員が替わると、今まで来なかった資料が回ってきたり、先日、ある町会で、市役所と消防に来てもらい、防災町歩きというのをやって危険な場所等を見て歩いたが、今まであまり関心がなかった人が参加するし、地域で自主防災組織ができれば、いざというときに地域の助け合いが強くなると思う。そういう地域ごとの情報を、町会長さんが集まった場で情報交換ができると広がっていくと思うし、市のほうでも指導していただくといいと思う。</p> <p>今回の計画は、地域の人と行政が協働でいろいろなことをやっているという市民協働、この方針が出ているから、これが具体化すれば、そういうものが出て来るのかなと期待している。</p>
齋藤委員	<p>こういうアンケートの解釈は非常に難しく、いろいろバイヤスがかかっていて、母集団を選択するところで男女比を少し操作しているし、関心が高い人たちだけの返事でやっている。これを本当にみんなの意見とすることに危険を感じる。年齢別の構成を取っても、年齢別</p>

<p>コンサルタント 齋藤委員</p>	<p>で回答率は違う。おそらく20代の回答率が低いからこういう結果になっているのではないか。2,000人の年齢構成と回答された年齢構成の比較とかいったことも必要で、そうしないとクロス分析の解釈も変わって来ると思う。そういった検証が足りないのではないか。</p> <p>各年齢ごとの回答率は、次回お示しさせていただく。</p> <p>例えば、19ページのクロス分析と円グラフの無回答が黒と白でイメージが違ってくるので、この辺も直したほうがいいと思う。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>回答の数の関係もあり、完ぺきにはできないかもしれないが、修正させていただく。</p>
<p>中里委員</p>	<p>2,000のサンプルに対して、回収数はこのくらいのものなのかというのが第一印象で、周りを見ても、若い方は受け取った郵便物を返送するのをおっくうがるので、今後の課題として、ネットで回答を求める形であれば、若い方の意見は回収できるのではないかと思う。</p>
<p>福祉保健部長</p>	<p>今回4課の計画のアンケートを作らせていただいたが、健康増進計画の回収率は39.7%、障害福祉の関係では一般市民の回収率は40%、高齢者計画では、高齢者の方は意識が高いので62%、ということで、やはり40%前後が通常でいう回収率ではないかと分析している。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回、皆様からいただいたご意見とアンケート結果をさらに分析し、市民ニーズや課題等を明らかにした報告書をお示ししたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>3. 各専門部会からの報告</b> ※各部会等の進捗状況を、事務局担当課長より報告</p>
<p>事務局</p>	<p><b>4. 地域福祉計画の体系案</b> ※小金井市保健福祉総合計画（体系イメージ案）（資料2）に基づき説明</p>
<p>山口委員長 矢野委員</p>	<p>ご意見ご質問があれば、挙手をお願いしたい。</p> <p>ここでは、保健福祉総合計画の第一部の部分と、地域福祉計画の30ページまでのところの確認作業を全部して、その他に、各課の専門部会でやられているのがまとまってきたら、それもここで目を通すという作業を、あと数回でやるということか。</p>
<p>山口委員長 中里委員</p>	<p>ここが全体の策定委員会なので、そういう形になる。</p> <p>1章、2章は大切とは思いますが、3章の具体的な取組が一番重要になってくると思われ、そのために何をどうしていくかという、個別のもの</p>

コンサルタント	<p>のが入って来ると思う。こちらの理想を言っても、予算的な背景があるので無理なものは無理だと思われ、そうすると、それはそれぞれの課から挙がってきたものを、目を通す形になるのか。</p>
福祉保健部長	<p>例えば先ほど出た自治会の問題等、ここで議論していただいて、第2節に盛り込んでいくとかそういう形で、1の地域福祉計画はここで議論していただくことになると思う。ほかの計画については、専門部会でやっているの、ここでそれぞれをさらに検討をするのではなく、中身は見える形にしてご報告だけとなる。</p>
福祉保健部長	<p>「小金井しあわせプラン」の128ページから130ページまでが、最上位計画における地域福祉計画である。今回、保健福祉総合計画で策定する地域福祉計画については、この地域福祉の3ページの部分を具体化したものというイメージでお考えいただければ、分かりやすいと思う。</p>
平野委員	<p>この部会で私がしてほしいのは、町内会の活性化で、それについてはどうすればいいのかといった具体的な施策を、例えば第2節の「ふれあい支え合いの地域づくり」に盛り込むことはできるのか。あくまでも128ページの内容に沿ったものでないとしたら、その辺り、町内会など入ってくるのか。</p>
福祉保健部長	<p>自治会・町会等については、外せない内容なので、1節の「地域における福祉活動の推進」であったり、2節の「ふれあい支え合いの地域づくり」の中で考えていただいてよろしいかと思う。</p>
竹内副委員長	<p>一番下に「現時点での体系イメージ案であり…」と書いてあるので、今日はこれで受け止めておいて、今後の議論の中で増えたり減ったりすることはあり得るという理解でよろしいか。</p>
コンサルタント	<p>そうである。</p>
事務局	<p>各専門部会等と調整を図りながら、次回、全体の体系案をお示ししたいと考えているので、ご協力のほどよろしくお願いしたい。</p>
事務局	<p><b>5. 今後のスケジュールについて</b>  ※策定スケジュール（資料3）に基づき説明</p>
山口委員長	<p>スケジュールについて、ご質問等あるか。</p>
木所委員	<p>できれば委員会の中で、次回の日程を決めていただけると助かる。</p>
事務局	<p>本日、7月下旬の会議室の予定が分からないので、6月第1週早々には皆様に日程調整のご連絡ができるものと思う。</p>
福祉保健部長	<p>9月以降の会議については、先に会議室の状況を押さえておいて、</p>

	<p>その場で皆様にお諮りする形を取りたいと思う。7月については申し訳ないが、ご了承いただきたい。</p>
矢野委員	<p>原則火曜日とか水曜日の夜7時とか、曜日だけでも設定していただくと、なるべく用事を入れないとかできると思う。</p>
福祉保健部長	<p>会議室がなかなか取れないということもあるが、今いただいたご意見については、極力できる方向で考えさせていただきたい。</p>
森田委員	<p>今回の災害で役に立ったのが、仙台のある地域の会長さんの、全介助なのかどうかとか、細かく色分けされた手づくりのマップで、各NPO団体等が外部から入ってきたとき、そのマップを頼りに、避難所に来られない在宅のお年寄りの方たちへ、直で支援ができたが、全くそういう物や計画がない地域は3日間飢えなければならなかった。</p> <p>計画の中の文言はどこも同じような文言が入って来ると思うが、第3章の具体的取組にはそういう地域マップを作ろうというのでもいいと思うし、どうせ作るなら、その会長さんが作られたマップのように、本当に役立つもの作りたいと思う。</p>
井爪委員	<p>災害時の取組に関しては、今、民生委員と市が協力してマップづくり等を計画しており、かなり具体的に話は進んでいる。民生委員としてもいろいろ計画を立てており、それぞれ自分の地域の高齢者や障害の方の状態についての一覧表を持っており、緊急の時にはそれも役立つと思う。この計画の中にも、社協と民生委員の会が協力してというのを一つの柱にしている。ただ、アンケート結果を見ると、民生委員に相談に行こうという人が少ないので、少しがっかりしており、これをどうやってPRするか、これから考えていきたいと思う。</p>
矢野委員	<p>障害者福祉計画のほうのアンケートでは、民生委員への相談が2番目なので、障害の分野では民生委員の役割、存在は大きいと思う。</p>
井爪委員	<p>ありがとうございます。長くやっている民生委員だと、地域のことは表を見なくても頭の中に入っている。しかし、災害では、民生委員も市の方も亡くなられた方が多いので、情報を共有することが大事だと思う。高齢者の場合は、民生委員が持っている個人情報も、全て市にも保管されているので、緊急の時にはかなり力を発揮してくれるのではないかと期待している。</p>
山口委員長	<p>地震後の計画なので、具体的な取組のイメージを膨らませていただき、次回の委員会では具体的な話し合いができるようお願いしたい。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了する。</p>